

導入年度	H14年度	設備名	電気透析装置		
メーカー	旭化成工業(株)	型式	マイクロアライヴ-S3	設置室	食品加工実験棟

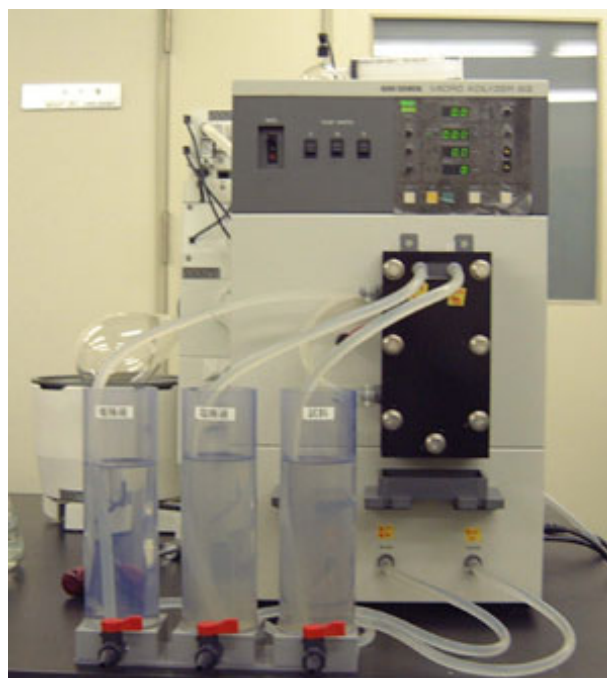
### 《 概要 》

溶液試料中に含まれるイオン性物質（塩化ナトリウムなど）を電気透析膜ですばやく、選択的に分離・除去できます。分離の際に加熱、加圧をしないので、成分の変質、分解が起こりにくいため食品の品質変化を避けることができます。また、通電条件の設定により任意の塩分調製が可能です。醤油の減塩、調味廃液の回収・再利用などに応用されています。

### 《 原理 》

電気透析法は、溶液中のイオン性物質の電気泳動と、イオン交換膜が陽イオンと陰イオンを選択して透過させる性質を利用する分離技術です。つまり、イオン交換膜には陽イオンは透過しても陰イオンは透過しない陽イオン交換膜と、その逆の性質を持った陰イオン交換膜があります。両方を交互に多枚数配置して直流電流を通すことで、溶液中のイオン性物質（塩化ナトリウムなど）を分離することができます。

### 《 装置外観 》



## 《仕様》

脱塩・濃縮方法：電気透析法

脱塩下限：NaCl換算で10ppm以下

処理容量：200mL以上10Lまで任意に設定可能

標準脱塩性能：0.5L/h（1時間で95%脱塩できる1N食塩水の量）

運転方式：タイマー、電流値低下、電導度低下、外部信号により終了時自動停止

終了設定範囲：電流値0.00～3.00A、電導度0.0～200ms/cm、タイマー時間0～999分